

太陽とヒマワリ

作詩 伊 東 晴 子 (62才)

シャボン玉の中から
ボクをずっと見ているヒマワリが
ボクは大好きだ。
そうだ、これは恋している
気持ちと一緒になんだろう。
ヒマワリもボクに恋しているんだ。
また明日、キミを照らしてみたい。
今年も一緒に、咲いておくれ。
そしてキミは、黄金の輝きで、ボクを迎えてくれ。
スキだよ。

見る見る間に、キミは小さくなったね。
どうしたんだ。
私は今、色々な病気をわずらっているの。
誰にも言えないくらい。ボクに見せてくれ。
こう見えてもボクは、医者なんだ。
私はこんなふうよ。
私は裸になった。
ボクはキミのすべてを知った。
治してあげるから、毎日、太陽にあたってなさい。
こうして、二人は、結婚しました。

あした

作詩 片 江 俊 博 (72才)

また間違えた
昨日も間違えて
同じ間違いの繰り返し
不器用
いや不用心なさすぎ
ひとつひとつ気くばりをすればいい
あしたこそ勇気を出して
あしたこそ出来る
あしたこそ頑張るって
あしたこそ良くなるかな
自分なりに出来る形がある
信じて無理に返ることはしないで
自分の形を持ってみよう
どう作りだすかでなく
どう出来るか思考することが大事だ
その後は歓び笑顔になる
きっとあしたは

小さな幸せの種

作詩 福 島 しょうこ（50才）

幸せがすぐに咲かないのは育てる時間が必要だから
毎日心を耕して 小さな幸せの種を蒔こうよ
いつの日にか友が芽を出し絆という花が咲くだろう

幸せに気付かずにいたのは当たり前すぎて忘れていたから
毎日心を耕して 小さな幸せの種を蒔こうよ
いつの日にか愛が芽を出し家族という花が咲くだろう

時に冷たい言葉や疑いの心で枯れてしまう事もあるけれど
決して諦めないでいて
友の励ましの言葉や信じ合う愛の力で
又新しい芽を出す日がきっと来るから

今日を大切にしなければ 明日という日は萎んでしまうから
毎日心を耕して 小さな幸せの種を蒔こうよ
いつの日にか君が芽を出し笑顔という花が咲くだろう
幸せという花が咲くだろう

大切な言葉

作詩 野 副 ゆかり（41才）

大切なことはちゃんと
伝えなきゃだね。
せいっぱいの言葉にしてさ。
だけど、なかなか
言えないもんだな～
どうしたらこの気持ち
伝えられるんだろう

「ありがとう」・「ごめんね」
「どういたしまして」
「これをお願いします」
言える日と言えない日
私にはあるんだなあ
毎日言って良いのに
言いにくくなって
知らずのうちに
ケンカの後のようなっちゃう。

これからはちゃんと話そう。
思った時に・・・
後でこうかいしないように
大切な言葉は
キレイな言葉だから。
かけてもらっていやだと
思わない言葉だから。
自分から人にかけてみよう。

ありがとうと虹

作詩 草野 薫 (42才)

ありがとうって大事なんだ
目に見えない虹
相手が思わず話したいという虹

ありがとうって伝えてみよう
相手がきれいな人も話を聞くとよ

ありがとうって感謝して
相手に感謝を伝えるとおもしろい。
キラいな人も笑みができる

ありがとうって言うってみて
まずはありがとうって言うってみよう
うれしくなる

ありがとうを言おうよ
初めは上手く言えない
言えなくても・・・言葉にしよう

ありがとうの言葉を
いつも心がけよう
この言葉

ありがとうの言葉を形に
常に心において
ありがとうを伝えるよ
全世界共通のことば

お兄ちゃんへ

作詩 酒井 優和 (11才)

お兄ちゃんにお守りをあげよう
楽しかったことをいっばいつめたお守りを
遠い大学に行ってもがんばってほしいな
一緒にたくさんならい事の大会に出たね
水族館やいろんなところにドライブに行ったね
なんでもたくさん知っていて教えてくれてうれしかったよ

お兄ちゃんにお守りをあげよう
楽しかったことをいっばいつめたお守りを
遠いまちにお仕事に行ってもがんばってほしいな
よくやわらかいボールでサッカーをしたね
うたをうたうだけでもおもしろくていっばいわらったよ
卓球の大会ではいつもつよくてすごいなあっておもったよ

お兄ちゃんにお守りをあげよう
「がんばれ」って書いてある手作りのお守りを
うしろに二人の好きな絵をかいて
たのしかったことをいっばいつめたお守りを
いつもいうことが逆な二人でまよったよ
でもいつもわたしのために言うてくれたね
せいかくもちがってすることもちがっておもしろかったよ

お兄ちゃんにお守りをあげよう
「がんばれ」って書いてある手作りのお守りを
うしろに二人の好きな絵をかいて
たのしかったことをいっばいつめたお守りを
またいっしょに遊びたいな会いたいな
もっともっといっしょにいたかったけどまた来てくれるよね
トランプや豆まきをまたいっしょにしたいな

お兄ちゃんにお守りをあげよう
「がんばれ」って書いてある手作りのお守りを
うしろに二人の好きな絵をかいて
たのしかったことをいっばいつめたお守りを

花

作詩 中 川 靖 子 (25才)

自由の芽を拾い集めよう
この広い世界の真ん中で
季節は巡り巡るけれど
そのたび素敵なものを、美しいものを
見渡す限り広い地球の中で見つけていこう

平和の芽は摘み取らないよう
この世界が平和の花で包み込まれますように
笑って笑いあって手を取り合えますように
【ありがとう】の言葉であふれかえるよう
今日をまた歩いていく

いつか終わりが来るとしても
今は沢山の笑顔の花が咲いているから
世界中に平和の花が咲きますように
あなたの心にある種をこの世界にまいていこう
いつか美しい花も木の実も輝くから
ありがとうの花束を
平和の花束を
笑顔の花束を
いつか生まれる子どもたちのために
心をつつにして生きていこう